

【各講義の内容と学習目標】

日程と講義名		手法	単元の概要	講師名	学習目標	
10月12日 (木)	1限目 09:30~10:45	総合防災政策	座学	総合的に防災政策を推進していくことの基本的な考え方を予防対策から応急対策・復旧復興への流れに沿って学ぶ。	岩田 孝仁 (静岡大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予防対策に関する防災政策の基本的な考え方を説明できる。 ・ 応急対策に関する防災政策の基本的な考え方を説明できる。 ・ 地域の防災力向上の基本的な考え方を説明できる。
	2・3限目 11:00~12:15 13:15~14:30	総合的な被害抑止施策の実施	座学	防災政策のうち、被害を抑止するための構造物や建築物に対する対策について学ぶ。	長尾 聡 (新潟県) 池谷 浩 (砂防・地すべり技術センター) 中川 和樹 (神戸市) 岩田 英二 (東京都)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水害をどのように防ぐのか総合的な水防対策を説明できる。 ・ 土砂災害をどのように防ぐのか砂防事業の方針と地域の課題を説明できる。 ・ 建築物に対する耐震化と室内安全対策について説明できる。 ・ 都市防災事業の先進事例を説明できる。
	4限目 14:45~16:00	リスク評価に基づく災害対応の検証	座学	防災アクションプランの策定手法であるリスク評価→施策目標の設定→事業評価指標の設定→進捗管理→検証→事業見直しといったサイクルについて学ぶ。	山本 晋吾 (人と防災未来センター) 西尾 朋章 (堺市)	<ul style="list-style-type: none"> ・ リスク評価と被害想定ของ考え方について説明できる。 ・ リスク評価に基づく防災政策への反映について説明できる。
	5限目 16:15~17:30	防災政策演習	演習	具体的な被害想定を基に、どのような防災政策を立案して推進していくべきかを演習形式で学ぶ。	岩田 孝仁 (静岡大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 被害想定を基にした防災政策の立案方法を説明できる。 ・ 減災目標を定めた防災政策の推進手法を説明できる。 ・ 災害予防対策の留意点と課題を説明できる。
10月13日 (金)	1限目 09:30~10:45	応急対策の実態	座学	災害対策本部における重要業務と応急活動の実態について学ぶ。	木村 敬 (内閣府 地方創生推進事務局)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害対策本部における災害応急活動の実態について説明できる。 ・ 広域防災拠点ネットワークと緊急輸送路ネットワークの考え方について説明できる。 ・ 国や都道府県、市区町村、各種関係機関との広域応援の考え方について説明できる。 ・ 自主防災組織や企業など民間との連携について説明できる。
	2限目 11:00~12:15	大規模災害の検証と対応	座学	大規模災害がどのように検証され、どのような対応方針が示されているのかを学ぶ。	渡眞利 論 (内閣府)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模災害の検証方法を説明できる。 ・ 大規模災害の検証結果を説明できる。
	3・4限目 13:15~14:30 14:45~16:00	災害対策本部体制	演習	災害対策本部体制を構築するために必要な組織や機能、空間レイアウトなど事前に準備すべきことを学び、災害対策本部運営の流れと心構えを演習形式で学ぶ。	岩田 孝仁 (静岡大学) 長尾 聡 (新潟県) 元谷 豊 (サイエンスクラフト)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害対応におけるプロジェクトマネジメントとしての災害対策本部体制の枠組みを説明できる。 ・ 災害対策本部体制を構築するために必要な組織を説明できる。 ・ 災害対策本部体制に求められる機能を説明できる。 ・ 災害対策本部に必要な空間レイアウトを説明できる。 ・ 災害対策本部運営の重要な流れを説明できる。 ・ 災害対策本部運営の心構えを説明できる。
	5限目 16:15~17:30	全体討論・閉講	演習	総合防災政策立案について学んだことを、受講者がそれぞれの自治体でどのように反映させるのかを考える。	岩田 孝仁 (静岡大学)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修受講の目的を再認識する。 ・ 研修を通じて、学び、得たものを整理する。 ・ 研修を活かして次につなげることを認識する。